

《特別企画》

リスクアペタイト的視点からのマクロ環境の評価と
各業態で進むリスクアペタイト・フレームワーク構築

日 時

2017年 7月13日 (木)
13:00~17:00 (受付開始12:30)

会 場

法政大学 新一口坂校(東京都千代田区九段北 3-3-9)
<http://www.im.i.hosei.ac.jp/contact/access/>
市ヶ谷駅 (JR、有楽町線、南北線、都営新宿線) 徒歩 10 分
飯田橋駅 (JR、東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線) 徒歩 10 分
九段下駅 (東西線、半蔵門線、都営新宿線) 徒歩 15 分

概 要

トランプ政権の政策運営を巡る混乱、Brexit交渉の難航化、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まり、そして合意が宙に浮いたままのバーゼルIII交渉等、本邦金融機関を取り巻くマクロ環境の不確実性は益々高まっています。こうした中で、これらリスクを自らのビジネスモデルに照らし評価し、ビジネス戦略の可否を判断するリスクアペタイト・フレームワーク(RAF)の重要性はこれまでになく高まっています。

本研修セミナーでは、足許のマクロ経済や金融規制動向に潜むリスクをリスクアペタイト的視点から評価すると同時に、保険や地域金融機関業界において現在進んでいるRAF構築の動きや目指すべき方向性を解説します。

参加対象

経営マネジメント層、リスク管理部門、内部監査部門の管理者、担当者など、幅広い層の方を対象にしています。

参加費用

会員/賛助登録して頂いた方は初めて受講する研修の参加費用を無料とします。
会員 年会費/年賛助金 10,000 円 参加費用 初回無料、2回目以降 5,000 円
非会員 参加費用 毎回 10,000 円

プログラム

- 13:00~14:00 「 世界経済や金融規制動向とリスクアペタイト 」
有限責任監査法人トーマツ/リスク管理戦略センター
パートナー・センター長 大山 剛 氏
- 14:10~15:10 「 保険業界の最近の動きと RAF との連動 」
有限責任監査法人トーマツ/リスク管理戦略センター
ディレクター 後藤 茂之 氏
- 15:20~16:50 「 地域金融機関の経営管理(PDCA)ツールとして RAF の活用
を考える 」
有限責任監査法人トーマツ/金融インダストリー
シニア・マネージャー 岡崎 貫治 氏

受講証明

CIA、CFE、CISA 等に係る CPE 申請のための受講証明を発行します(4CPE)

申し込み

協会ホームページよりお申し込みください。 https://ifra.jp/seminar_info/index.html